

めざそう 20,000人
 10月末組合員数18,343人に
 未加入の仲間をご紹介ください

建設労働者

三重県建設労働組合機関紙

発行
 三重県建設労働組合
 三重県津市島崎町548
 電話 (059) 224-1001
<https://www.miekenro.or.jp/>
 発行責任者 猿木清司



要求訴え都内をデモ行進

諸要求実現へ奮闘誓う

全建総連が熊本で第60回定期大会



全国の仲間が“ガンバロウ”で団結強化

団結強化で運動の前進を

全建総連第60回定期大会が、10月30日～11月1日の3日間、熊本県熊本市で開催されました。全国から1453人の仲間が結集し、諸要求実現に向けたさらなる団結強化を誓いました。

全建総連第60回定期大会 本会議では、熊本県熊本市の「熊本市民会館」を本会場に、10月30日～11月1日の日程で開催されました。全国53県連・組合から1453人の仲間が結集、三重建労からは59人が参加しました。大会役員として、三重建労の松葉副委員長が議事運営委員を務めました。



大矢副委員長が本会議で発言

2日目には、専門部ごとに10の分科会に分かれて、それぞれの諸課題について議案を討議しました。最終日の本会議では、3日間わたる活発な討議を引き上げて向けて、団結し全力を上げてたたくことを誓う大会決議を採択し、ガンバロウで集いを締めくくりました。



原前副委員長が功労者表彰

役員改選では、吉田三男さん（建設埼玉）が再選されました。三重建労からは、松川委員長、奥川副委員長、猿木書記長が中央執行委員に再選されました。また功労者として、三重建労・前副委員長の原義秀さん（亀山支部前委員長）が表彰されました。

予算確保に全力で

全建総連が中央総決起大会

全建総連は、建設国保に対する現行補助水準の確保をはじめ、私たちの諸要求

を来年度予算に盛り込ませるため、11月20日、東京・日比谷公園大音楽堂で「賃金・単価引き上げ、予算要求中央総決起大会」を開催。全国から3371人の仲間が結集し、三重建労からは24人が参加しました。

主催者挨拶で吉田中央執行委員長は、予算要求や労働者の処遇改善を訴え、諸要求実現を強く訴えました。

勝野書記長の基調報告、仲間の決意表明と続いた後、「予算確保、賃金・単価の



田村議員に要請(中央支部)

また大会と併行し、各県の代表により編成された交渉団が、関係省庁への交渉を実施し、諸要求実現を強く訴えました。



岡田議員に要請(桑名・四日市支部)

大会終了後には、参加者全員で東京駅までデモ行進を行い、運動への理解と支持を訴えました。

ハガキ・国会議員要請行動を展開

厚生労働省が財務省へ提出した、来年度の国保組合関係の概算要求額は、総額で2836.7億円となり、現行補助水準での要求とな

りました。今後、年末の予算編成に向け、予算要求運動の強化をはかっていきます。三重建労では、中央行動への参加で全国の仲間との連携をはかりつつ、地元選出の国会議員への要請行動を実施しています。要請では、建設国保の特徴や重要性を訴えながら、現行補助水準の確保への理解と協力を求めています。また組合員とご家族の皆さんのご協力をいただきながら、財務省へのハガキ要請行動にも取り組んでいます。



長野市で仮設木造住宅の建設も

建設事業協会は、長野県から応急仮設木造住宅を55戸を受注し、長野市内での建設をスタートしました。現在、地元組合や近隣県の仲間が作業に従事しています。

台風15・19号の被災者等に 支援金80万円を送金

10月に日本列島を襲った台風15号・19号は、各地で甚大な被害をもたらしました。全建総連の仲間においても、大きな被害が出ています。全建総連では、被災組合員や被災組合への支援対策費に充てる目的で、目標を3千万円とする「支援金」の取り組みを決定。この要請を受け、三重建労では80万円の支援金を送金することを決定しました。また全建総連とJBNで構成する「(一社)全国木造

① 三重建労の平均賃金 (全体)

○ 常用

単位：円 (年収は万円)

	全体 (昨年)	大工	左官	内装	電気	配管	その他
日額	15,212(15,101)	15,870	14,689	16,217	15,763	15,412	14,746
月額	343,129(333,143)	348,511	342,435	333,244	362,139	352,483	337,661
年収	418.1(412.7)	384.7	337.3	426.1	487.8	453.1	418.8

○ 一人親方

* 手間請または自分仕事 (材料持ち) の下請け仕事をした方 単位：円 (年収は万円)

	全体 (昨年)	大工	左官	内装	電気	配管	その他
日額	18,231(17,978)	17,775	17,718	18,509	19,522	18,280	18,098
年間所得	392.3(388.2)	363.7	359.4	403.2	435.9	432.5	389.5

○ 事業主が支払う賃金

単位：円 (年収は万円)

	全体 (昨年)	事業主の職種					
		大工	左官	内装	電気	配管	その他
常用	15,849(15,665)	16,663	15,518	17,141	16,795	15,763	15,451
手間請	18,786(18,430)	18,505	18,241	19,364	20,062	19,290	18,565
月給制	334,608(334,165)	352,846	325,625	353,636	307,806	335,352	334,924
年間支給	433.1(429.0)	430.6	400.7	446.9	458.3	448.0	428.3

② 三重建労の平均賃金

(65才未満、労働日数20日以上、経験年数5年以上)

○ 常用

単位：円 (年収は万円)

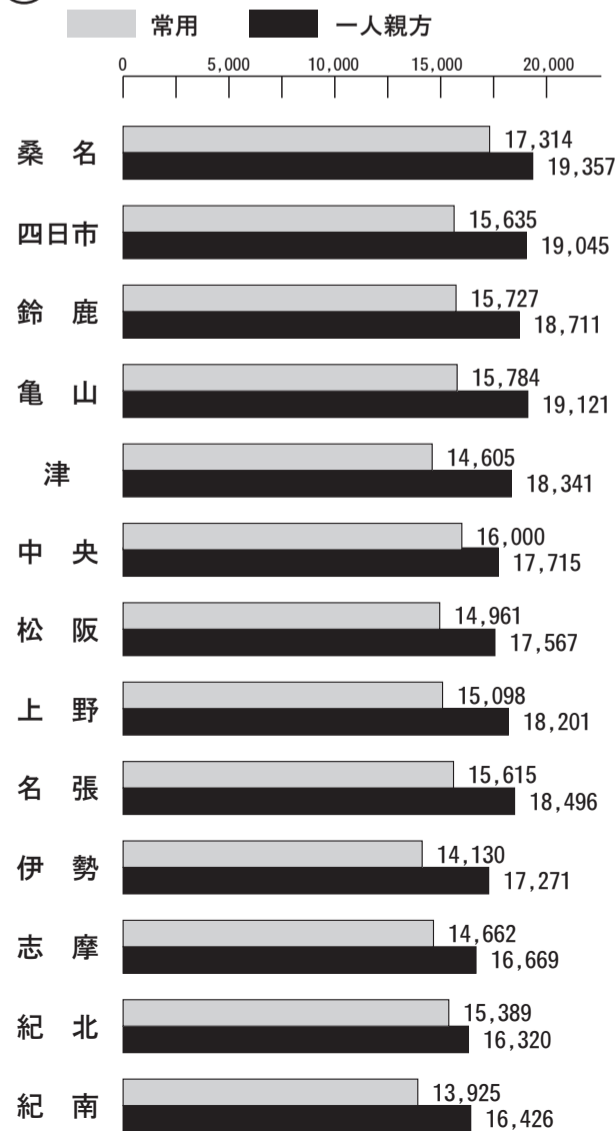
	全体 (昨年)	大工	左官	内装	電気	配管	その他
日額	15,385(15,227)	16,043	15,253	16,402	15,470	15,436	15,034
月額	355,991(348,723)	363,903	371,176	351,265	369,357	359,382	351,012
年収	449.1(443.1)	422.2	421.2	460.9	505.9	466.7	443.8

○ 一人親方

* 手間請または自分仕事 (材料持ち) の下請け仕事をした方 単位：円 (年収は万円)

	全体 (昨年)	大工	左官	内装	電気	配管	その他
日額	18,757(18,474)	18,296	18,469	18,936	19,949	18,676	18,615
年間所得	424.7(416.6)	396.9	436.3	419.9	464.4	455.9	420.9

③ 支部別の1日あたり平均賃金



アンケート回答数

桑名	573
四日市	1,660
鈴鹿	2,041
亀山	852
津	1,308
中央	243
松阪	834
上野	280
名張	472
伊勢	1,643
志摩	243
紀北	265
紀南	455
合計	10,869

また統計学的な観点から単純平均だけでなく、「65才未満、労働日数20日以上、経験年数5年以上」の方を抽出したデータ集約も行いました。

○1日の賃金および月額1日あたりの平均賃金は、常用で15,212円(昨年15,101円)、一人親方で18,231円(昨年17,978円)と、いずれも昨年より増加しました。

○年収は、常用で418.1万円(昨年412.7万円)、一人親方で392.3万円(昨年388.2万円)と、いずれも昨年より増加しました。

組合員の皆さんに「協力いただいた」賃金アンケートの集約結果がまとまりました。

回答数は、三重建労全体で1万0869人、回収率は59.3%。「常用で働く人」「一人親方」「事業主」の3つの事業形態に分け、「大工」「左官」「内装」「電気」「配管」「その他」という6つの職種別に調査を行いました。

2019年 賃金アンケート結果

○1日の賃金および月額1日あたりの平均賃金は、常用で15,212円(昨年15,101円)、一人親方で18,231円(昨年17,978円)と、いずれも昨年より増加しました。

○年収は、常用で418.1万円(昨年412.7万円)、一人親方で392.3万円(昨年388.2万円)と、いずれも昨年より増加しました。

④ 労働日数・時間

	日数	時間
常用	22.4	8.2
一人親方	22.1	8.2

⑤ 建退共

	入っている	入っていない
常用	42.4%	51.4%
一人親方	31.6%	64.0%
事業主	34.2%	61.1%

⑥ 土曜は休日か

	はい	いいえ
常用	14.5%	67.5%
一人親方	10.1%	75.6%
事業主	9.2%	78.7%

⑦ 時間外労働の割増賃金

	もらっている (支払っている)	もらっていない (支払っていない)
常用	16.6%	60.9%
事業主	79.1%	16.7%

⑧ 見積書に法定福利費を含めているか

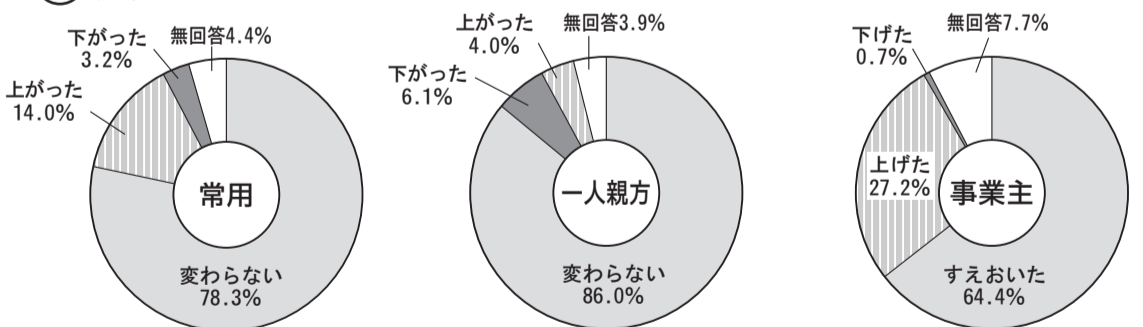
	はい	いいえ	法定福利費がわからない
事業主	22.3%	52.2%	19.6%

⑨ 有給休暇を与えているか

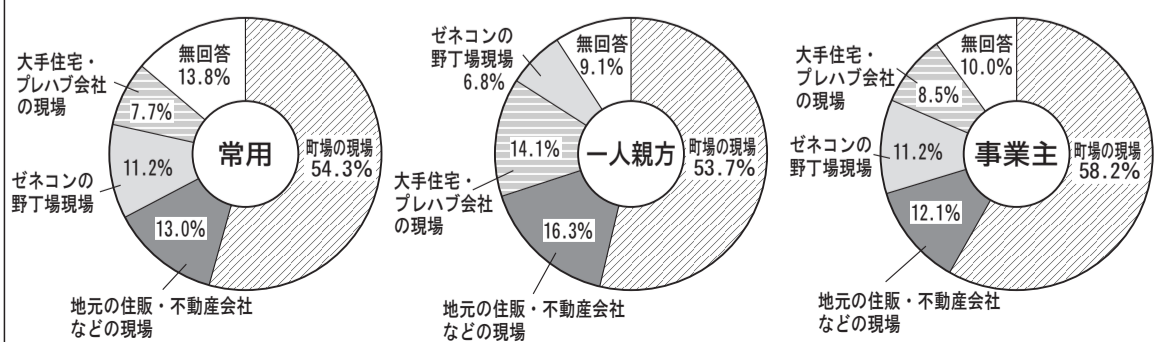
	はい	いいえ
事業主	36.7%	58.2%

※⑩~⑪の欠測値=無回答

⑩ 賃上げ



⑪ 主な仕事先



労働日数や時間、建退共、土曜休日、割増賃金、法定福利費、有給休暇のことや、賃上げの状況、仕事先等については、表・グラフを参照ください。

○その他
労働日数や時間、建退共、土曜休日、割増賃金、法定福利費、有給休暇のことや、賃上げの状況、仕事先等については、表・グラフを参照ください。

○年収
平均年収は、常用で418.1万円(昨年412.7万円)、一人親方で392.3万円(昨年388.2万円)と、いずれも昨年より増加しました。

○抽出データの賃金額
「65才未満、労働日数20日以上、経験5年以上」の方を抽出したデータ集約も行いました。

※日額・月額・年収の詳細は「表A」を参照ください。

建設キャリアアップシステム

技能をレベル分けする『能力評価基準』 建築大工などの職種で認定

「建設キャリアアップシステム」とは、技能者の就業履歴や保有資格等をシステムに登録・蓄積し、評価の適正化や処遇の改善等を図ることを目的とした制度で、全国的技能者登録の件数は、10月末で13万4455人（三重県で1639人）となりましたが、国の本年度の登録目標100万人には程遠い状況です。また現場等のシステム整備も、十分とはいえない状況ですが、「5年で全ての技能者（330万人）を登録する」ことを目標に、国の指導の下で体制作りが進んでいます。技能を4段階でレベル分けするための「能力評価基準」は、専門工事業団体ごとの検討と国の認定作業が進められており、10月末までに鉄筋、型枠、機械土工、左官、内装仕上、防水施工、

建築大工の能力評価基準

レベル4	就業日数	10年(2150日) 職長として3年(645日)
	保有資格	●下記のいずれか ○登録建築大工基幹技能者 ○優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター) ○安全優良職長厚生労働大臣顕彰 ○卓越した技能者(現代の名工) ○技能グランプリ(金賞・銀賞・銅賞・敢闘賞) ●レベル2、3の基準に示す保有資格
レベル3	就業日数	7年(1505日) 職長又は班長として0.5年(108日)
	保有資格	●下記のうちから2つ以上 ○1級又は2級建築大工技能士 ○枠組壁建築技能士 ○1級又は2級建築施工管理技士 ○1級若しくは2級建築士又は木造建築士 ○職業訓練指導員(建築科・枠組壁建築科・プレハブ建築科) ○木材加工用機械作業主任者 ○建築物の鉄骨の組立て等作業主任者 ○足場の組立て等作業主任者 ○木造建築物の組立て等作業主任者 ○青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰 ○プレハブ建築マイスター ○認定ログビルダー ●レベル2の基準に示す保有資格
レベル2	就業日数	3年(645日)
レベル2	保有資格	●下記の全て ○丸のこ等取扱作業安全衛生教育 ○足場の組立て等作業従事者特別教育又は足場の組立て等作業主任者
レベル1	レベル2~4判定を受けていない技能者	

は、10月末で13万4455人（三重県で1639人）となりましたが、国の本年度の登録目標100万人には程遠い状況です。また現場等のシステム整備も、十分とはいえない状況ですが、「5年で全ての技能者（330万人）を登録する」ことを目標に、国の指導の下で体制作りが進んでいます。技能を4段階でレベル分けするための「能力評価基準」は、専門工事業団体ごとの検討と国の認定作業が進められており、10月末までに鉄筋、型枠、機械土工、左官、内装仕上、防水施工、



現場紹介

熊野市 愛着がある和室

和風の平屋建ての玄関に入ると、大黒柱や落ち着く木の香りが迎えてくれた。ふと家の中心部にある和室を眺めると、大黒柱や長押、落とし掛け、廻り

縁などが数年経過している色になっていた。施工をしている熊野市の中村建築（中村雅哉さん）に尋ねると、近畿自動車道紀勢線（熊野道路）の立ち退きでの移転新築となり、施工は今年で暮らしてきた家に愛着があり、和室の材料はなるべく新しい材料は使わずに移転してほしいとの要望だったので、使える材料はそのまま移転したとのことだった。

室の使える材料は丁寧に外して、切断や削ることもできないので、収まりなど取付けには苦労をしたそうだ。施工さんは、施工が進み、今まで愛着があった、落ち着く和室ができあがるにつれて喜んでいっていると話してくれた。施工さんは特に、3重廻り縁を気に入っている。

取材時は、左官屋さんが和室の壁を塗っている最中だったが、家全体の出来上がりイメージすると、大黒柱を中心に、今までの材

料を使った物語もあることから、落ち着く・安心感を与える住宅になり、施工さんの喜ぶ顔が浮かんだ。

取材時は、左官屋さんが和室の壁を塗っている最中だったが、家全体の出来上がりイメージすると、大黒柱を中心に、今までの材



ミニニス作りを指導

ものづくりフェア

親子連れで大盛況 津支部の仲間が木工教室

（一社）三重県技能士会では、技能への理解を広め、技能士の地位向上をはかる

こと、そして次代を担う子どもたちに物づくりのおもしろさを伝え、後継者育成に繋げることを目的に、様々な取り組みを行っています。その一環として、技能士による技術指導や作品展示などを中心とした「みえ技能祭・ものづくりフェア」というイベントを

例年、県内の商業施設等で開催しています。今年は、昨年11月にオープンしたばかりの「イオンモール津南」（津市高茶屋小森町）で、10月26日～27日の2日間わたって開催されました。

当日は、技能士会の加盟団体それぞれが趣向を凝らして、物づくりの体験ブースを中心に、実演・展示など多くのブースが展開され、2日間で約3200人の来場者が訪れました。



三重建労は、地元・津支部の協力のもと、3階・イオンホールの体験ブースの中で木工教室を担当、「ミニニス」の製作指導を行いました。数ある体験ブースの中でも、三重建労の木工教室は特に人気が高く、両日とも多くの親子連れが訪れ、大盛況となりました。

労働安全標語を募集します

全建総連では、建設作業現場の安全確保・意識向上にむけ、毎年、安全ポスターを作成していますが、その際使用する「労働安全標語」を、下記要領で募集します。応募資格は、組合員とご家族となります。皆様のご応募をお待ちしています。

- 内容 労働安全に関する標語（応募は1人1作品）
※昨年の作品＝「チョット待て 慣れた動作に 落とし穴」
「安全は 働くみんなの 合言葉」
- 賞品 最優秀作品1点、優秀作品9点に賞品贈呈
- 締切 2020年1月17日(金)
- 応募 支部窓口で応募用紙に記載し、提出ください

支部だより

中学校へ出前授業

伊勢支部では、建労まつり、労協協フェスティバル、いせトピア土曜大工講座などの活動に取り組んでいます。生徒は1年生23人組んでいます。その一環、用意された杉材をビス止め



○伊勢支部○

釘打ち、ペーパー仕上げなど休憩時間も休まず、黙々と作業を進めていました。その後のカンナ体験では、補助員が付きながら杉材を順番に削ってもらいました。初めはぎこちなかった生徒も、何度も挑戦し、最終的には補助員なしで削れるようになっていました。削ったカンナくずの匂いといいと、ポケットに入れる生徒もいました。最後に、生徒からの質問で「大さんになって良かったと感じることは何か」と聞かれ、自分の建てた家が何年も残っていくこと、施工さんの喜ぶ顔が見れることだと思いました。今後、ものづくりの楽しさを伝えていきたいと思えます。

【記 中山和秀】

仲間の声を機関紙に

機関紙とは仲間の声の集まりです。良い紙面づくりには、多くの声が必要ありません。「建設労働者」の充実のため、皆さんからの投稿記事をお待ちしています。



記事作りの“コツ”学ぶ

津市で通信員学校を開校



取材で集めた材料を整理し記事を作成

三重建労では、通信員の育成を目的に、隔年で「通信員学校」を開校しています。13回目となる今回は、11月16、17日、三重建労会館を会場に実施し、各支部から29人が参加しました。最初に、全建連連教習部・金田主任書記から、取材方法や文章のまとめ方など、記事作りの基本や「コツ」について説明をいただきました。その後は早速取材です。取材先は津市大門の恵日山観音寺(津観音。和銅二年(709年)の開山で、本尊の聖観世音菩薩は、浅草

観音大須観音と並んで「日本三観音」に数えられている、由緒ある寺院です。現場での材料(ネタ)集めが、記事作りの基本です。参加者は住職の説明にペン走らせながら熱心に質問し、また観音堂、仁王門、五重塔など境内の建築物を視察するなど、ネタ集めに奔走しました。2日目は、4班に分かれて記事の作成です。慣れない作業に苦労している方もみえましたが、講師に質問し、添削をしてもらいながら、全員が時間内に記事を書き上げました。最後に各班の講師が選んだ代表者4人が全体会で作品の発表を行い、金田主任書記から全体にわたっての講評をいただき、閉校しました。



取材のようす(津観音)

笑顔いっぱい2日間

主婦の会が伊賀で交流集会

主婦の会は11月10日、11日、伊賀市の「サンピア伊賀」で「三重建労主婦交流集会」を開催しました。今年度は25人と、例年より参加者の少ない中での開催となりましたが、笑顔いっぱい始まりました。竹原代表の挨拶の後、来賓の柳川委員長より、組織拡大をはじめとする組合運動への協力のお礼と、「建設業の新しい時代に向けて、みんなで一丸となって頑張りたい」と題した講演を行いました。続いて桑名書記より、「組合運動と建設業の情勢について」と題した講演を行いました。また、伊賀市役所より、「伊賀市の現状と、働き方改革、建設キャリアアップシステム、インボイス制度など建設業界の情勢について、主婦層にも分かりやすくお話ししていただきます。」と題した講演を行いました。3班に分かれて活発な意見交換を行いました。2日目は、モクモクファームで手作りウインナー体験をしました。みんなで協力して作ったウインナーをお土産に帰路につきました。

この人

今年の7月に「(株)若松社寺」を起ち上げた渡辺健太さん(44)。神社仏閣を専門に、設計から施工まで一貫

寺社仏閣を守るために

して担えることを武器にして、地元の人に喜ばれる仕事を手掛けたいと日々業務に当たります。渡辺さんは1才の時、はしかの高熱が原因で難聴を患いました。障害を持つと就職が難しく、将来の目標を失っていました。

しかし母親から「難聴の大工さんがいる」と聞き、大工への道を志しました。高校卒業後、社寺建築会社から声がかかり、専門的で奥深い世界に惹かれ、宮大工へ就職しました。入社してからもう一

現任2人の宮大工と共に、渡辺さんは「見て盗む」が根強く残るこの業界ですが、相手とのコミュニケーションを大切にしています。相手の口の動きを見て言葉を読み取り、丁寧に指導をする、そうして宮大工を育成し技術を継承していくのが目標



渡辺健太さん(44才) ■ 桑名支部 ■

しかし業界では分業が多く、宮大工の経験と設計の

知識を持つ数少ない存在となり、大きな武器にもなりました。

また、携わった神社仏閣を、次の100年、200年後まで繋いでいくのも宮大工の役目だと語ります。



分散会で活発な意見交換

分散会では、3班に分かれて活発な意見交換を行いました。2日目は、モクモクファームで手作りウインナー体験をしました。みんなで協力して作ったウインナーをお土産に帰路につきました。

島人ぬ宝 首里城

四日市支部 平井 一善 通信員



首里城・守礼門

夏の混雑を避け、11月11日、さすがの海の青さから始まり、最終日には首里城見学でしたが、ご存知のとおり、本殿をはじめ主要な棟が全焼しており、守礼門から入ることができず、一部黒く焦げた屋根しか見ることができませんでした。沖繩といえは首里城といえは、首里城と深く関係が深い観光地です。この地方が被災地になったこと、今回、普通に旅行に行けたことに感謝して、来年は何事も起こらないようにと願って帰ってきました。

平成から令和に変わった今年、いろいろな災害がありました。最近では台風15号・19号被害です。ひとつ間違えば、この地方が被災地になったかも。今年、普通に旅行に行けたことに感謝して、来年は何事も起こらないようにと願って帰ってきました。

楽しみな2020年

伊勢支部 佐々木 元 通信員

私の休日の過ごし方は、高校2年生、小学3年生の息子のサッカー試合を見に行くことか、友人たちとバイクに乗ることです。来年は、長男が受験生になるので、ひとつ楽しみが減ってしまっています。幼稚園から続けているサッカーも、春には引退です。近場に伊勢フットボールヴィレッジがあるので、今までもよく恵まれた環境でサッカーが出来たことに感謝し、あと半年、



息子のサッカー試合を観戦